

番号	1	
① プロジェクト名称	バスストッププロジェクト	
② プロジェクトメンバー(代表のみ)		
工学部 情報工学科	袖 美樹子	代表
③ 参加学生数(報告時点)		
学部 1～3 年次生	研究室所属学生 (大学院生含む)	外部参加者数
30 人	6 人	50 人
④ 活動報告 (これまでの活動、年度末のまでの活動予定、活動における課題等について書いてください。フォントは 9～11pt以内。行間は適宜。写真や図も O.K)		

4 月 連携推進課主催 新入生向け説明会&送迎会と情報系団体成果発表会に参加。新入生の勧誘を行いました。

6 月 20 日 電子情報通信学会 バイオメトリクス研究会で「コミュニティバス『のっティ』における情報端末バス停の提案」の発表を行いました。

6 月 24 日(金)に開催された「G 空間×ICT 北陸まちづくりトライアルコンクール マッチングイベント」で、『賢いバス停 市民サポートシステム』の発表を行いました。総務省北陸総合通信局と北陸情報通信協議会が共催で開催した「トライアルコンクールマッチングイベント」は、平成 27 年 11 月 28 日に開催された「G 空間×ICT 北陸まちづくりトライアルコンクール」の優秀提案の社会実装をめざし、企業・団体や自治体とのマッチングを図ることを目的としたものです。北陸 3 県の企業、市町村から 50 組程度の参加がありました。「金沢工業大学バスストッププロジェクト」は、コンピュータを組み込んだ情報端末バス停のシステムについて発表し、ブースでの説明・デモを行いました。

夏休み、がっつりウイークと題して短期集中開発を行い、その成果発表会を行いました。情報端末バス停の Android アプリのハッカソンを行いました。企業の方を招いて Android 講習会を開催しました。

扇が丘学内の八束穂行きバス停に、情報端末バス停を設置し利用者アンケート調査を行いました。また、アンケート調査結果を野々市市役所に報告を行いました。

今後の予定として、10 月 29 日工大際で情報端末バス停の展示を行います。11 月 2 日野々市市役所に情報端末バス停を設置させて頂き、アンケート調査を行います。情報端末バス停の 2 号機の制作を行っています。



図 1 トライアルコンクールマッチングイベントでの発表の様子



図 2 ニュース記事に

賢いバス停 市民サポートシステム

概要 バス停にはディスプレイが付いており、時刻表やルートを表示します。またバス停と会話することにより、道案内や乗り換え、近のお店情報が届きます。事前に子供の顔を登録しておくと、バス停と会話したときに通知がく見守りシステムや、災害時にイーストと地図で外国人でもわかりやすい避難指示を表示するシステムが搭載されています。市独自の無料無線ネットワークを構築することにより災害情報を市民間で共有できます。

バス停の情報端末化

バス停のディスプレイに「見守り」機能を実装し、子供たちの顔写真を登録することで、見守りシステムが稼働します。

バス乗り換え案内

バス乗り換え案内の表示画面に、乗り換えの案内や、乗り換えのルートを表示します。

情報発信

地域商店の広告表示

地域商店の広告表示の画面に、地域商店の情報を表示します。

地域の情報発信

地域の情報発信の画面に、地域の情報を表示します。

災害対策

ユニバーサルデザイン 避難誘導

ユニバーサルデザイン 避難誘導の画面に、避難誘導の情報を表示します。

災害に強い通信の無線通信

災害に強い通信の無線通信の画面に、無線通信の情報を表示します。

バス停をICTの力で、より賢く。

バス停にG空間情報ICPを用いて、見守りシステムや防災システムを搭載した新しい体験の提供をします。従来のバス停は目印としての役割が主でしたが、バス停と会話でき、日常生活に元気をもらえます。緊急時には助けられる、そのような賢いバス停です。

金沢工業大学 Bus Stop プロジェクト

油野 凌真、外松 俊尚、北口 知樹、小田 翔一、吉川 和樹、竹田 寛



図 3 がっつりウイークの様子

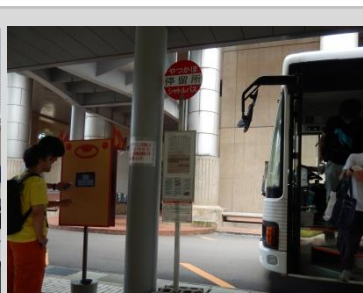


図 4 アンケート調査の様子

図 5 emesse kanazawa で展示